

坂城町内遺跡発掘調査報告書2011

—平成23年度試掘・立会い調査報告書—

2012.3

坂城町教育委員会

例　　言

- 1 本書は長野県埴科郡坂城町における開発事業に伴う、平成23年度の町内遺跡の試掘調査及び立会い調査の報告書である。
- 2 調査の費用は、国庫の補助金及び町費にて対応した。
- 3 調査の体制

担当者 助川 朋廣、時信 武史（坂城町教育委員会学芸員）
- 4 事務局の構成

教　育　長 長谷川 臣
教育文化課長 中沢 恵三（～平成23年9月30日）
柳澤 博（平成23年10月1日～）
文化財係長 助川 朋廣
文　化　財　係 時信 武史
中沢あつみ、山岸紀美子（以上、町臨時職員）
- 5 本書の執筆・編集は助川・時信が行った。
- 6 本書及び調査に関する資料は、坂城町教育委員会の責任下において保管されている。

凡　　例

- 1 本文中の面積は、開発対象面積と調査面積を記載し、（　）内に調査面積を記載した。
- 2 採図の縮尺は、各図に縮尺を示した。
- 3 報告書抄録に記載された北緯・東経の座標値については、平成14年4月1日から施行された測量法改正に伴う、世界測地系に基づいた数値を記載した。

目　　次

例　　言

凡　　例

第Ⅰ章 坂城町の遺跡の立地と環境	1
第1節 地理的環境	1
第2節 歴史的環境	1
第Ⅱ章 試掘調査の結果	6
1 寺浦遺跡 5	6
2 町横尾遺跡Ⅲ	7
3 中之条遺跡群 6	9
第Ⅲ章 立会い調査の結果	11

報告書抄録

第Ⅰ章 坂城町の遺跡の立地と環境

第1節 地理的環境

坂城町は北信地方と東信地方の接触点にあたり、善光寺平を構成する更埴地方の最南端に位置する。町の地形は、中央部を貫流する千曲川の氾濫によって形成された氾濫原と、千曲川に流れ込む小河川がつくりだした扇状地によって形づくられた小盆地（坂城盆地）に特徴がある。町の北から東にかけては五里ヶ峰・大峰山・虚空藏山をはじめとする標高1100～1300m前後の山々が連続し、千曲市・上田市との市町村界を形成し、西は大林山、三ッ頭山などの標高1000m前後の山々が連続し、千曲市・上田市との市町村界となっている。南は千曲川右岸の岩鼻と左岸の半過の岩鼻が狭隘な地形を形成し、上田盆地と隔てられている。このような地形から、古来よりこの地域は千曲川流域の要衝の地として注目されてきた。

この地域の気候は、南北に開けた小盆地状をなしていることから、季節風の影響を受けやすいため、夏季は南風、冬季は北風が強い。また、盆地状になっていることから寒暖の差が大きい。降水量は少なく、日本で最も雨量の少ない地域の一つとされている。現在では、この気候も関連し、工業が主要な産業となっており、農業では、りんご・バラ・ぶどうの栽培が盛んである。

第2節 歴史的環境

ここで、坂城町の各時期について代表的な遺跡を挙げながら、町の歴史的環境について概略的にふれておきたい。（括弧内の数字は3、4ページの坂城町遺跡分布図における遺跡番号を示す）

坂城町で最古の遺物は、約14,000～15,000年前の後期旧石器時代の上ヶ屋型彫刻器とされる石器である。この石器は南条地区の保地遺跡（3-1）より採集されたものであるが、本出土品以外には込山D遺跡に槍先型尖頭器の出土があるが、詳細は不明である。

縄文時代の遺構・遺物では早期押型文系の土器が坂城地区の和平A遺跡や平沢遺跡で採集されている。また、平成12年度に発掘調査が実施された坂城地区の込山C遺跡（30-3）からも押型文系の土器片が少量出土しているが、これらは現在整理中である。この他に縄文時代前期・中期の土器も出土している。後期・晚期では、学史的に有名な保地遺跡が挙げられる。保地遺跡は昭和40年度と平成11年度に発掘調査が実施されている。前者は縄文時代後期後半から晩期後半までの土器・石器群と、後期後半に属するとされる特殊儀礼的遺構の検出が『考古学雑誌』に報告されている（閔 1966）。後者については、縄文時代晩期に位置づけられる再葬墓が検出されており、中でも約19個体分の人骨が埋葬された2号墓址が注目される。その他、坂城地区の込山D遺跡（30-4）から昭和初期に採集された遮光器土偶の頭部がある。

弥生時代では、中期以前の調査例がないため状況は不明である。後期後半では、平成5年度に南条地区的塚田遺跡（1-7）で発掘調査が実施され、この時期に属する竪穴住居址36棟をはじめとする遺構が検出され、土器、石器、土製品、及び鉄製品が出土している。

古墳時代では、前期古墳は確認されていないが、中期古墳には中之条地区的仮称東平1号墳・2号墳が挙げられる（註1）。これらは、平成5年度に実施された上信越自動車道建設に伴う発掘調査で、埴輪や土器などの出土品から、1号墳は5世紀第2四半期後半、2号墳は5世紀第2四半期前半に位置づけられた（若林 1999）。後期古墳では、町内でいくつかの古墳群の存在が知られているが、中でも代表的なものは村上地区の福沢古墳群小野沢支群に属する御厨社古墳である。埋葬施設に千曲川水系最大級の横穴式石室を持ち、

全長11.2mを測り、勾玉や切子玉、耳環などが出土している。古墳時代後期の集落址は町内においても多く検出され、特に環状に土器が配列された祭祀遺構が検出された南条地区の青木下遺跡（1-8）が注目される。

奈良時代・平安時代の遺跡では、中之条地区の中之条遺跡群（8）とその周辺遺跡に多くの調査例があり、この地域における奈良・平安時代の状況が徐々に解明されつつある。具体的には、寺浦遺跡（8-1）、上町遺跡（8-2）、東町遺跡（8-3）、宮上遺跡（8-5）、北川原遺跡（8-6）、豊饒堂遺跡（20）、開畠遺跡（21）で調査が実施され、古墳時代後期後半～平安時代までの集落址が判明している。また、平安時代の生産遺跡として坂城地区的土井ノ入窯跡（32）があり、瓦の生産が行われていたことが判明し、本遺跡で生産された瓦は、現在の坂城小学校がある場所に8世紀末～9世紀頃に存在していたとされる込山廃寺（54）に用いられたほか、上田市信濃国分寺・国分尼寺、千曲市正法廃寺の補修用の差し瓦として使用されていたことが判明している。

平安時代後期、寛治8年（嘉保元）（1094）に村上地区に配流されてきた源盛清が後に村上氏として勢力をを持つようになり、戦国時代には村上義清が活躍するようになった。義清の頃、村上氏の居館は現在の坂城地区的満泉寺一帯に所在したとされ、その背後にそびえる葛尾山の山頂には、義清が使用した葛尾城跡（44）がある。このほか、中世の遺跡では坂城地区的観音平経塚（55）をはじめとする経塚と中之条地区的開畠製鉄遺跡（53）がある。観音平経塚は昭和54年と平成4年に調査が行われたが、平成4年の調査では、経塚の年代は14世紀第2四半期とされ、その周辺の五輪塔群の造営時期は14世紀第2四半期から16世紀前半頃に位置づけられている（若林 1999）。開畠製鉄遺跡は、昭和52・53年に坂城町教育委員会によって学術調査が実施され、16世紀頃の製鉄炉址2基が確認されている。この調査は県内初の製鉄遺跡の学術調査として学史に位置づけられるものであった。

江戸時代に入ると、現在の坂城地区を主体とする坂木村、中之条地区を主体とする中之条村には幕府の代官所が置かれ、以後明治維新まで天領として支配された。このことから、この地域を重要視していたことが看取される。代官所は最初、坂木（61）に置かれたが、明和4年（1767）に焼失し、その後、安永8年（1779）には中之条に代官所が置かれるようになった。

以上、近世までの坂城町の歴史を概略した。

註1 周知の御堂川古墳群東平支群1号墳・2号墳とは異なる可能性があるため、仮称とされている。今後、正式な古墳名称の確定が必要である。

参考文献（五十音順・敬称略）

- 坂城町教育委員会 1978『開畠製鉄遺跡第一回調査報告』 1979『開畠製鉄遺跡第一回調査報告』 1986『宮上遺跡II』 1995『東裏遺跡I』 1996『豊饒堂遺跡・上町遺跡・寺裏遺跡・東町遺跡』 1996『寺浦遺跡II』 2000『開畠遺跡III』 2001『宮上遺跡I・II・III・IV』 2002『保地遺跡II』
開孝一 1966『長野県坂城郡保地遺跡発掘調査報告』『考古学雑誌』第51巻第3号
森崎 稔ほか 1981『坂城町誌』中巻 歴史編（-）
柳沢 光 1998『第5節 開畠遺跡』『北陸新幹線埋蔵文化財充てん延長報告書2』（財）長野県埋蔵文化財センター
若林 卓 1999『第9章 東平古墳群』『第11章 観音平経塚』『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書2』（財）長野県埋蔵文化財センター



試掘調査位置図 (1 : 25,000)



坂城町遺跡分布図

国宝番号	通 諺 名	種 別	時 代
1	南条通跡群	集落址	飛生~平安
-1	南条通跡群	集落址	飛生~平安
-2	南条通跡群	集落址	飛生~平安
-3	南条通跡群	集落址	飛生~平安
-4	南条通跡群	集落址	飛生~平安
-5	南条通跡群 三町通跡	集落址	飛生~平安
-6	南条通跡群 渡り日通跡	集落址	飛生~平安
-7	南条通跡群 善木下通跡 (田園)	集落址	飛生~平安
-8	南条通跡群 善木下通跡	水田址	祭祀跡
2	金井西通跡群	集落址	繩文~平安
-1	金井西通跡群 金井通跡	集落址	繩文~平安
-2	金井西通跡群 杜官寺通跡 (金井寺)	集落址	繩文~平安
-3	金井西通跡群 善木下通跡	集落址	繩文~平安
3	金井東通跡群	集落址	繩文~平安
-1	金井東通跡群 佐地通跡	集落址	繩文~平安
-2	金井東通跡群 山全寺通跡	集落址	繩文~平安
-3	金井東通跡群 大木久保通跡 (南島小学校敷地)	集落址	繩文~平安
-4	金井東通跡群 玉王寺通跡	集落址	繩文~平安
4	豊ノ谷通跡	古 墓	古墳
5	社宮尾通跡	社	中世
6	町根尾通跡	散布地	飛生~平安
7	北境古墳	古 墓	古墳 (後期)
8	中之条通跡群	集落址	繩文~平安
-1	中之条通跡群 寺通跡	集落址	繩文~平安
-2	中之条通跡群 上町通跡	集落址	飛生~平安
-3	中之条通跡群 東山通跡	集落址	飛生~平安
-4	中之条通跡群 北通跡	集落址	繩文~平安
-5	中之条通跡群 宮上通跡	集落址	繩文~平安
-6	中之条通跡群 北川通跡	集落址	繩文~平安
9	南条北谷古墳 (第六穴古墳)	古 墓	古墳 (後期)
10	谷川古墳群	古 墓	古墳 (後期)
-1	谷川古墳群 入樋尾支群 向田古墳	古 墓	古墳 (後期)
-2	谷川古墳群 入樋尾支群 刘田古墳	古 墓	古墳 (後期)
11	入樋尾通跡	散布地	平安
12	谷川古墳群 上原支群	古 墓	古墳 (後期)
13	鹿屋通跡群	堆 地	中世~近世
14	御室川古墳群 山口支群	古 墓	古墳 (後期)
15	山崎通跡	散布地	繩文
16	御室川古墳群 山崎支群	古 墓	古墳 (後期)
17	御室川古墳群 前山支群	古 墓	古墳 (後期)
-1	御室川古墳群 前山古墳	古 墓	古墳 (後期)
-2	御室川古墳群 前山古墳	古 墓	古墳 (後期)
-3	御室川古墳群 前山古墳	古 墓	古墳 (後期)
-4	御室川古墳群 前山古墳	古 墓	古墳 (後期)
-5	御室川古墳群 前山古墳	古 墓	古墳 (後期)
-6	御室川古墳群 前山古墳	古 墓	古墳 (後期)
-7	御室川古墳群 前山古墳	古 墓	古墳 (後期)
-8	御室川古墳群 前山古墳	古 墓	古墳 (後期)
-9	御室川古墳群 前山古墳	古 墓	古墳 (後期)
-10	御室川古墳群 明治山古墳	古 墓	古墳 (後期)
-11	御室川古墳群 明治山古墳	古 墓	古墳 (後期)
-12	御室川古墳群 初山古墳	古 墓	古墳 (後期)
-13	御室川古墳群 初山古墳	古 墓	古墳 (後期)
-14	御室川古墳群 初山古墳	古 墓	古墳 (後期)
18	御室川古墳群 寒平支群 二郎古墳	古 墓	古墳 (後期)
19	御室川古墳群 山内支群	古 墓	古墳 (後期)
20	鹿屋通跡群 (山崎北通跡)	集落址	繩文~野生
21	駒岡通跡	集落址	飛生~平安
22	人塚古墳	古 墓	古墳 (後期)
23	四ツ屋通跡群	集落址	繩文~平安
24	成久保通跡	集落址	飛生~平安
25	入田通跡	散布地	飛生~平安
26	境内古墳 (御所沢古墳)	古 墓	古墳 (後期)
27	金比羅山通跡	散布地	繩文~平安
28	基平通跡	散布地	中世~近世
29	岡の原通跡	散 布	平安
30	込山通跡群	集落址	繩文~平安
-1	込山通跡群 畠山A通跡 (水上)	集落址	繩文~平安
-2	込山通跡群 畠山B通跡 (松宮寺)	集落址	繩文~平安
-3	込山通跡群 畠山C通跡 (畠山)	集落址	繩文~平安
-4	込山通跡群 畠山D通跡 (柳町)	集落址	繩文~平安
-5	込山通跡群 畠山E通跡 (立町)	集落址	繩文~平安
31	日名河通跡群	集落址	飛生~平安
-1	日名河通跡群 日名河通跡	集落址	飛生~平安
-2	日名河通跡群 丸山通跡	集落址	飛生~平安
32	土井ノ入家跡	散 布	飛生~平安
33	平林通跡	散布地	繩文
34	堤外路跡	堤 防	平安
35	平汎路跡	城壁跡	中世
36	和牛通跡群	集落址	飛文~平安
-1	和牛通跡群 和牛A通跡	集落址	飛文~平安
-2	和牛通跡群 和牛B通跡	散布地	飛生
-3	和牛通跡群 和牛C通跡	散布地	平安
37	金比羅山古墳	古 墓	古墳 (後期)
38	村上大通跡	城壁跡	中世
39	馬の池通跡	散布地	繩文
40	北日吉通跡	経 廻	中世
41	北日吉通跡六角山通跡	古 墓	古墳 (後期)
-1	北日吉通跡六角山通跡	古 墓	古墳 (後期)
-2	北日吉通跡六角山通跡	古 墓	古墳 (後期)
42	梅ノ木通跡	散布地	繩文
43	豊田通跡	聚落跡	中世
44	鳴尾通跡	城跡跡	中世
45	出島大古墳群	古 墓	古墳 (後期)
-1	出島大古墳群 出島支群1号墳	古 墓	古墳 (後期)
-2	出島大古墳群 出島支群2号墳	古 墓	古墳 (後期)
-3	出島大古墳群 出島支群3号墳	古 墓	古墳 (後期)
-4	出島大古墳群 出島支群4号墳	古 墓	古墳 (後期)
-5	出島大古墳群 出島支群5号墳	古 墓	古墳 (後期)
-6	出島大古墳群 畠山支群1号墳	古 墓	古墳 (後期)
-7	出島大古墳群 畠山支群2号墳	古 墓	古墳 (後期)
46	島瀬通跡	集落址	飛生~平安
47	鶴見大通跡	古 墓	古墳 (後期)
-1	鶴見大通跡 小野支群1号墳 (御前社古墳)	古 墓	古墳 (後期)
-2	鶴見大通跡 小野支群2号墳	古 墓	古墳 (後期)
-3	鶴見大通跡 小野支群3号墳 (ヤックラ古墳)	古 墓	古墳 (後期)
-4	鶴見大通跡 小野支群4号墳	古 墓	古墳 (後期)
48	小野大通跡	墓葬址	飛生~平安
49	鶴見大通跡 絆定支群	古 墓	古墳 (後期)
50	福永大通跡	古 墓	古墳 (後期)
51	猿瀬通跡	城跡跡	中世
52	三大通跡	城跡跡	中世
53	間引大通跡	城跡跡	中世
54	冴山大通跡	寺跡跡	平安
55	御幸平野跡	站 墓	中世
56	栗田小綱古跡	帆船跡	中世
57	追之瀬通跡	集落址	飛生~平安
58	南日吉通跡	集落址	飛生~平安
59	葛尾根大通跡	城跡跡	中世
60	越城跡	城跡跡	中世
61	坂本大官所跡	星宿跡	近世
62	田町通跡群	散布地	古墳~平安
63	御幸平野跡	堆 地	中世
64	御幸平野跡	台 墓	平安
65	中之条石切堀跡	探査跡	近世
66	祇江古墳	古 墓	古墳 (後期)
67	中之条古墳跡	星宿跡	近世
68	広畠通跡	聚落跡	平安
69	鷹巣古墳跡	城跡跡	中世
70	南越川古墳群 (吉野寺古墳)	著名古跡雲霧	近世~中世
71	口留通跡	城跡跡	近世
72	和会院跡	城跡跡	中世
73	高ノ木古跡	城跡跡	中世
74	虚空蔵山城跡	城跡跡	中世
75	地盤大官所官邸探査跡	星宿跡	近世
76	鎌田通跡	散布地	平安
77	出浦通跡	城跡跡	中世
78	上五条多摩木戸站	水坝址	平安~近世
79	出浦通跡	集落址	飛生~平安
80	村上大通跡	城跡跡	中世
81	坂尻大通跡	城跡跡	中世
82	小野大通跡	聚落跡	飛生~平安
83	後次大通跡	古 墓	古墳 (後期)
-1	坂次大通跡 五块冢群1号墳	古 墓	古墳 (後期)
-2	坂次大通跡 五块冢群2号墳	古 墓	古墳 (後期)
-3	坂次大通跡 五块冢群3号墳	古 墓	古墳 (後期)
84	笠置通跡	墓葬址	飛生~平安
85	網掛通跡	集落址	飛生~平安
86	御史通跡	聚落跡	平安
87	島夷御駐屯跡	洋行跡	近代
88	島マサンガ採掘場跡	探査跡	近代
89	上平賀銅鉱床跡	探査跡	近代
90	横次大田通跡	田園跡	近世

第Ⅱ章 試掘調査の結果

1 寺浦遺跡5

所在地 坂城町大字中之条1133-1

事業主体 坂城町土地開発公社

事業名 宅地造成事業

調査期間 平成23年5月9日

面積 399m² (21m²)

担当者 時信 武史

遺跡の環境と調査にいたる経緯

寺浦遺跡は、坂城町中之条に所在し、標高429m内外を測る御堂川によって形成された扇状地の扇尖部に立地する。「坂城町遺跡分布図」によると繩文～平安時代の集落址とされ、平成6年度に実施された発掘調査では、古墳時代後期と思われる大型の掘立柱建物の検出や8号住居址から平安時代の綠釉陶器片が出土していることから、一般集落ではなく郷家の存在を予想できる古代の集落址である可能性が指摘されている。

今回、坂城町土地開発公社による宅地造成事業が計画され、遺跡の状況を確認するために試掘調査を実施することとなった。

調査の成果

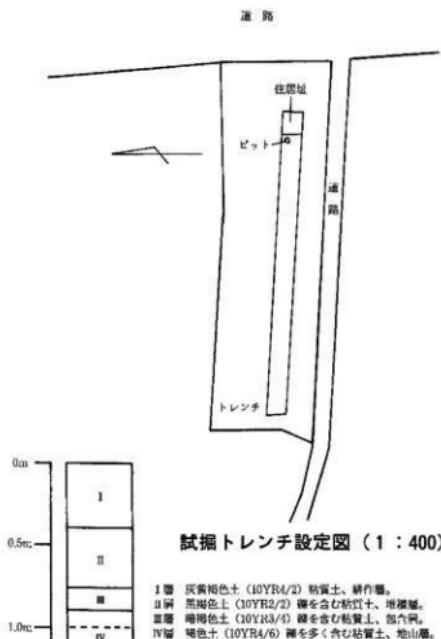
今回の計画地は、西面する緩斜面に位置している。東西方向に試掘トレンチを設定し、遺構の有無を確認した。

トレンチを現地表面から約1m掘り下げたところ、トレンチ東端において住居址1棟、ピット1基を検出した。

試掘調査の結果を踏まえて事業主と再協議を行い、現状のまま盛土保存とすることとして調査を終了した。



試掘調査位置図 (1:2500)



2 町横尾遺跡III

所在 地 坂城町大字南条4745-1

事業主体 坂城町土地開発公社

事業名 宅地造成事業

調査期間 平成23年5月26・27日

面 積 1,478m² (146m²)

担当者 時信 武史

遺跡の環境と調査にいたる経緯

町横尾遺跡は坂城町大字南条に所在し、西方向に流下する谷川の扇状地の扇央付近、標高約430m付近に位置する。「坂城町遺跡分布図」によると縄文～平安時代の集落址とされ、過去に数回試掘調査が実施されている。平成8年度は宅地造成事業、平成16・18年度は道路改良事業によって試掘調査を行ったが、平成8・18年度調査地点からは堅穴住居址や土坑が検出されている。

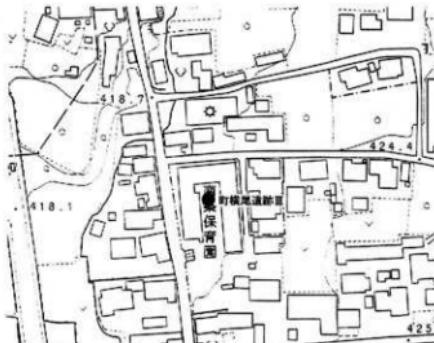
今回、坂城町土地開発公社による宅地造成事業が計画され、遺跡の状況を確認するために試掘調査を実施することとなった。

調査の成果

今回の計画地は、西面する緩斜面に位置している。東西方向に2か所の試掘トレンチを設定し、遺構の有無を確認した。

トレンチを現地表面から約0.5m掘り下げたところ、1号トレンチ西端において住居址1棟を検出した。

試掘調査の結果を踏まえて事業主と再協議を行い、記録保存のための本調査を実施することとして調査を終了した。



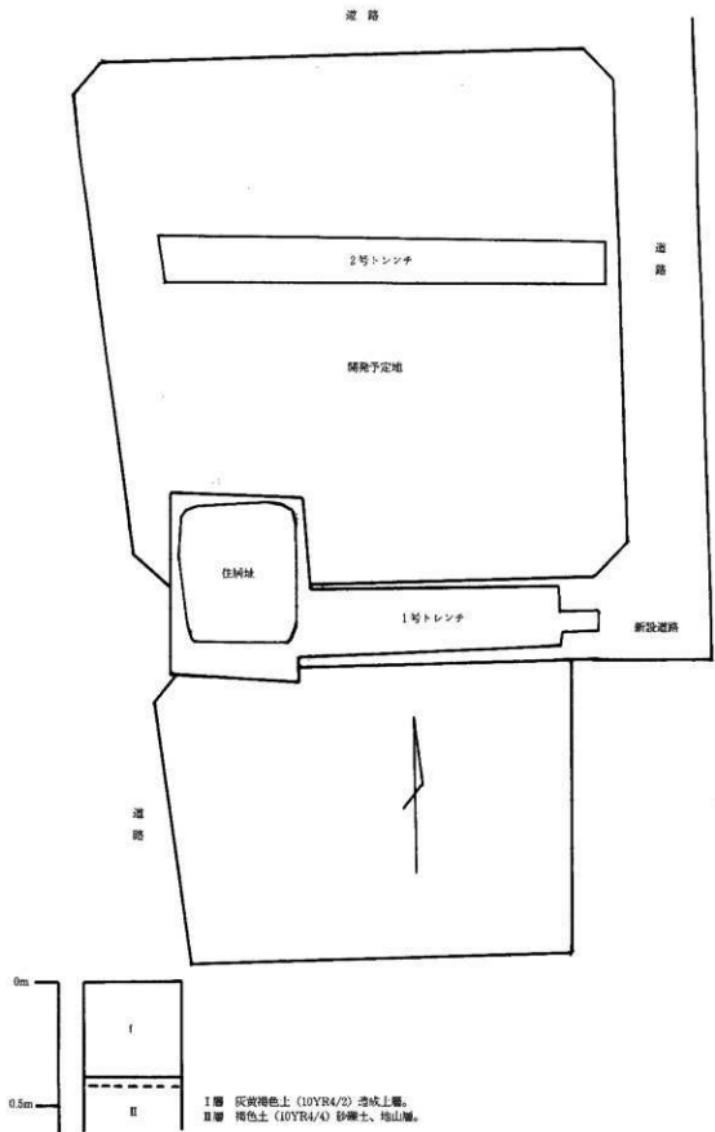
試掘調査位置図 (1 : 2500)



トレンチ掘削状況（東より）



トレンチ検出状況（南東より）



試掘トレンチ設定図 (1 : 300)

3 中之条遺跡群6

所在 地 坂城町大字中之条1335

事業主体 K Y B - Y S 株式会社

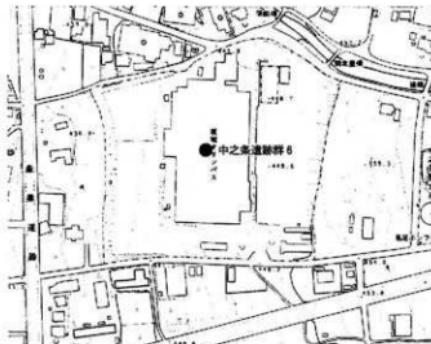
事業名 工場建設事業

調査期間 平成23年6月20~22日

平成23年8月1~3日

面 積 46,971m² (340m²)

担当者 時信 武史



試掘調査位置図 (1 : 2500)

遺跡の環境と調査にいたる経緯

中之条遺跡群は、御堂川によって形成された扇状地上に位置する绳文時代から平安時代の遺跡群である。本遺跡群内では、寺浦遺跡、上町遺跡、東町遺跡、宮上遺跡、北川原遺跡で発掘調査が実施されており、古墳時代から平安時代にかけての集落の状況が徐々に解明されてきている。

今回、K Y B - Y S 株式会社による工場建設事業が計画され、遺跡の状況を確認するために試掘調査を実施することとなった。

調査の成果

今回の計画地は、西面する緩斜面に位置している。南北方向に試掘トレンチを8箇所設定し、造構の有無を確認した。

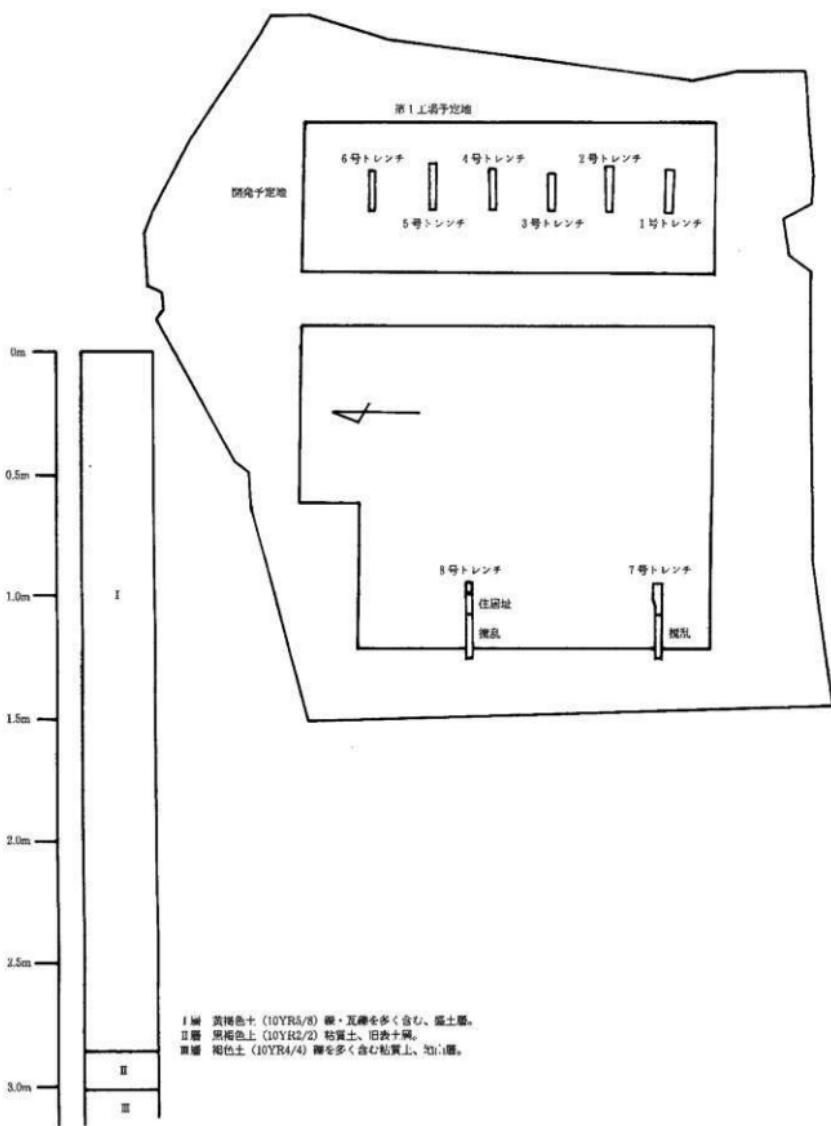
1~7号トレンチにおいては、かつての造成事業によって、地山面が大きく削平されており、造構等は確認されなかった。8号トレンチでは、大規模な擾乱を受けていたが、住居址が1棟検出された。当該エリアはかつての造成で3m近い盛土が施されていたことと、今後の開発でも盛土を施すことから、現地での保存を実施することとして調査を終了した。



トレンチ掘削状況 (東より)



トレンチ検出状況 (東より)



試掘トレンチ設定図 (1 : 1600)

第Ⅲ章 立会い調査の結果

No	遺跡名	開発主体者	所在地	開発事業名	開発面積 (m ²)	調査期間
1	宮上遺跡	株式会社桜井製作所	中之条	倉庫建設	168	H23年3月22日～ H23年4月30日
2	塙之原遺跡	個人	坂城	個人住宅建設	165	H23年4月4日～ H23年6月26日
3	南条遺跡群	個人	南条	個人住宅建設	328	H23年3月22日～ H23年4月15日
4	上五明条里水田址	ソフトバンクモバイル株式会社	上五明	携帯電話鉄塔建設	4	H23年4月13日～ H23年4月20日
5	四ツ屋遺跡群	上田水道管理事務所	坂城	配水管埋設	114	H23年6月1日～ H23年9月20日
6	込山遺跡群	上田水道管理事務所	坂城	配水管埋設	342	H23年5月18日～ H23年9月14日
7	田町遺跡群	上田水道管理事務所	坂城	配水管埋設	342	H23年5月18日～ H23年9月14日
8	吉木下遺跡	個人	南条	個人住宅建設	352	H23年6月30日～ H23年9月30日
9	込山B遺跡	個人	坂城	個人住宅建設	197	H23年7月10日～ H23年12月4日
10	町横尾遺跡	坂城町建設課	坂城	下水管埋設	1205	H23年5月25日～ H23年11月30日
11	町横尾遺跡	上田水道管理事務所	坂城	配水管埋設	340	H23年6月27日～ H24年2月29日
12	金井東遺跡群	ソフトバンクモバイル株式会社	南条	携帯電話鉄塔建設	2	H23年7月20日～ H23年9月20日
13	南条遺跡群	個人	南条	個人住宅建設	239	H23年7月25日～ H23年10月30日
14	町横尾遺跡	関東財務局長野財務事務所	南条	ボーリング	344	H23年7月13日～ H23年7月29日
15	南条遺跡群	個人	南条	個人住宅建設	278	H23年10月10日～ H23年12月20日
16	上五明条里水田址	坂城町建設課	網掛	下水管埋設	663	H23年10月17日～ H24年3月31日
17	小野沢遺跡	坂城町建設課	上平	下水管埋設	663	H23年10月17日～ H24年3月31日
18	山浦遺跡	坂城町建設課	上平	下水管埋設	663	H23年10月17日～ H24年3月31日
19	福沢古墳群	坂城町建設課	上平	下水管埋設	663	H23年10月17日～ H24年3月31日
20	上五明条里水田址	坂城町建設課	上平	下水管埋設	70	H23年11月16日～ H24年3月31日
21	小野沢遺跡	坂城町建設課	上平	下水管埋設	70	H23年11月16日～ H24年3月31日
22	福沢古墳群	坂城町建設課	上平	下水管埋設	70	H23年11月16日～ H24年3月31日
23	上五明条里水田址	千曲建設事務所	網掛	道路改良	350	H23年11月1日～ H24年3月31日
24	上五明条里水田址	上田水道管理事務所	上平	配水管埋設	290	H24年1月10日～ H24年3月31日
25	小野沢遺跡	上田水道管理事務所	上平	配水管埋設	290	H24年1月10日～ H24年3月31日
26	福沢古墳群	上田水道管理事務所	上平	配水管埋設	290	H24年1月10日～ H24年3月31日



立会い調査位置図 (1 : 25,000)

報告書抄録

ふりがな	さかきちょうないいせきはっくつちょうさほうこくしょ
書名	坂城町内遺跡発掘調査報告書 2011
副書名	平成23年度試掘・立会い調査報告書
巻次	
シリーズ名	坂城町埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第40集
編著者名	助川 朋廣・時信 武史
編集機関	坂城町教育委員会
所在地	〒389-0601 長野県埴科郡坂城町大字坂城6362-1 TEL 0268-82-1109
発行年月日	2012年3月30日

所収遺跡名	所在地	コード 市町村 遺跡番号	北緯	東經	調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因
寺浦遺跡 5	坂城町大字中之条	20521	36° 26' 41"	138° 11' 40"	2011年5月9日	21	宅地造成事業
町横尾遺跡Ⅲ	坂城町大字南条	20521	36° 26' 33"	138° 11' 30"	2011年5月26日 2011年5月27日	146	宅地造成事業
中之条遺跡群 6	坂城町大字中之条	20521	36° 26' 51"	138° 11' 48"	2011年6月20日 2011年8月3日	340	T場建設事業

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
寺浦遺跡 5	集落址	縄文～平安	住居跡、ピット	なし	
町横尾遺跡Ⅲ	集落址	縄文～平安	住居跡	なし	本調査実施
中之条遺跡群 6	集落址	縄文～平安	なし	なし	

坂城町埋蔵文化財調査報告書

	『開砍製鉄遺跡－第1次調査報告書』	1977
	『開砍製鉄遺跡－第2次調査報告書』	1978
	『東裏遺跡』	1983
	『中之条遺跡群 宮上遺跡II』(概報)	1993
	『南条遺跡群 塚田遺跡』	1993
第1集	『南条遺跡群 東裏遺跡II・青木下遺跡』	1994
第2集	『町内遺跡発掘調査報告書』	1994
第3集	『町内遺跡発掘調査報告書』	1995
第4集	『南条遺跡群 塚田遺跡II』	1995
第5集	『豊饒堂遺跡・上町遺跡・寺浦遺跡・東町遺跡』	1996
第6集	『中之条遺跡群 寺浦遺跡II』	1996
第7集	『中之条遺跡群 上町遺跡II』	1996
第8集	『上五明里水田址』	1996
第9集	『町内遺跡発掘調査報告書1995』	1996
第10集	『坂城町試掘調査・立会い調査報告書』	1996
第11集	『町内遺跡発掘調査報告書1996』	1997
第12集	『戌久保・町横尾遺跡』	1998
第13集	『込山Bほか 発掘調査報告書 1997』	1998
第14集	『町内遺跡発掘調査報告書1998』	1999
第15集	『町内遺跡発掘調査報告書1999』	2000
第16集	『開畠遺跡III』	2000
第17集	『中之条遺跡群 北川原遺跡II』	2001
第18集	『町内遺跡発掘調査報告書2000』	2001
第19集	『中之条遺跡群 宮上遺跡I・II・III・IV』	2001
第20集	『金井東遺跡群 保地遺跡II』	2002
第21集	『町内遺跡発掘調査報告書2001』	2002
第22集	『町内遺跡発掘調査報告書2002』	2003
第23集	『豊饒堂遺跡III』	2004
第24集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2003』	2004
第25集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2004』	2005
第26集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2005』	2006
第27集	『込山遺跡群 込山C遺跡II・III』	2006
第28集	『込山遺跡群 込山D遺跡I』	2007
第29集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2006』	2007
第30集	『南条遺跡群 青木下遺跡II・III』	2007
第31集	『開畠遺跡IV』	2008
第32集	『町横尾遺跡II』	2008
第33集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2007』	2008
第34集	『中之条遺跡群 上町遺跡IV・V』	2009
第35集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2008』	2009
第36集	『中之条遺跡群 寺浦遺跡IV』	2010
第37集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2009』	2010
第38集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2010』	2011
第39集	『町横尾遺跡III』	2012
第40集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2011』(本書)	2012

坂城町埋蔵文化財調査報告書第40集

坂城町内遺跡発掘調査報告書2011

発行日 2012年3月30日

編集者 坂城町教育委員会

〒389-0601 長野県埴科郡坂城町大字坂城6362-1

TEL 026 (82) 1109

印刷者 信毎書籍印刷株式会社

〒381-0037 長野県長野市西和田1丁目30番3号

TEL 026 (243) 2105